

授業科目名	生活支援技術Ⅱ				履修期	2016年度 秋学期	
担当者	植田 房子					NO.	HS-SW-2-506
配当学科	社会福祉				年次	2	
必修・選択	選択	単位数	5	時間数	75	授業形態	講義
テーマと到達目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。						
概要	講義・演習を通し、介護に必要な知識・技術・態度を学ぶ。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな高齢者の生活のイメージでき、要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則を（方法、留意点、その根拠等）理解でき、介助することができる。・講義・演習時の積極的参加、ルールを守り 安全に演習することができる。（80%）</li> <li>課題（レポート、提出物）（10%）</li> <li>受講姿勢（10%）</li> </ul>						
履修条件・注意事項	介護職員初任者研修課程テキストを使用する						
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者についてイメージしておく。利用者の介護を行うにあたり、まずは自分自身がどのように生活しているのか考える。</li> <li>ノートを作成し、まとめる。</li> <li>忘れ物をしない。</li> </ul>						
オフアワー	授業終了後						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> <li>生活と家事</li> <li>快適な居住環境整備と介護</li> <li>整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>介護技術演習（ベットのメイキング）</li> <li>移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>介護技術演習（移動・移乗）</li> <li>食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>介護技術演習（食事）</li> <li>入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>介護技術演習（入浴・排泄）</li> <li>睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>死にゆく人に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>死にゆく人に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>試験</li> </ol>	講義 講義 講義  演習 講義  演習 講義  演習 講義  講義  講義  講義  講義  試験	植田 植田 植田  植田 植田  植田 植田  植田 植田  植田 植田  植田 植田  植田		
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							